

一五〇日に及ぶ通常国会 予算委はじめ党内三冠の活躍

一五〇日に及ぶ通常国会の開催。予算委員会をはじめ、党内三冠の活躍が注目されている。三本目の矢は、官僚としての経験も活かし、党の先頭に立って、並み居る大臣に果敢に論戦を挑みました。



■TV入りの予算委
 中でも忘れられないのは、初質疑となった三月十三日の予算委員

会です。私が政治を志すきっかけともなった東日本大震災と福島第一原発事故からの復興に関するNHKテレビ入り集中審議で質問に立ち、安倍総理に直接論戦を挑んだのです。こうしたことは一年生議員としては極めて稀なことです。

■質疑の三冠を達成
 党本部のまとめによると、手前味噌ながら私の質疑時間は二時間五十五分で党内トップ、質疑回数も二十回で党内トップと二冠を達成し、内容も含めれば、三冠と自負しています。

国立循環器病研究センターの移転問題については、特定自治体の利害を排し厚労行政の公正性を確保する観点から、二度にわたって田村厚労大臣に問い質しました。

ネットを通じ 情報発信



復興特委・原子力特委ではエネルギー政策を 厚労委では社会保障の未来を討議

■全力の一五〇日間
 年明け一月に召集された通常国会は、予定通り六月二六日をもって閉会しました。

■専門性を活かして
 国会における審議において特別の位置付けにある予算委員会とは別に、私たち議員は、



年金や医療・介護、更には子育てといった社会保障についても、負担と給付の抜本見直しが必要であり、その前提として規制改革を急ぐ必要があると訴えています。

■動画等を掲載
 こうした足立やすしの政治活動を知っていただくため、HPに動画等を掲載しています。衆議院のHPからもインターネット中継の「ビデオライブラリ」

権を再び掌握した安倍総理の経済政策「アベノミクス」三本の矢が本来の意味で成功する

特別委員会では理事を務め、東北・福島の復興や原子力問題を扱っています。特に福島

第一原発の汚染水の問題が深刻化しており、収束に向けて国が総力を挙げるべきです。

■地元の課題も俎上に
 国会審議では、地元に係るテーマも積極的に取り上げました。

から「足立やすし」を検索すれば、動画一覧にアクセスできますので、是非ご利用下さい。

地元の夏祭りに参加 氏地の代表として宮入り

■茨木神社の大御輿
地元では、各地のお祭りにも参加させてい
ただいています。

茨木神社の夏祭りⅡ
「御神輿の渡御」は、
江戸時代中期以前から
始まった歴史ある祭り。
氏地である竹橋町の代
表として私も大神輿を
担ぎ、皆で力を合わせて
宮入りすることができ
ました。



■賑やかな箕面まつり
箕面まつりでは、箕
面市役所の正面玄関で、
倉田哲郎市長や水本恵
造商工会議所会頭らと
ご一緒に、パレードを
楽しみました。

お祭りなど地域の行
事では、我々政治家も
党派の鎧を脱ぎ捨てて、
地元で生活する住民の
一人として参加し、歴
史と伝統ある町々の行



事を心ゆくまで楽しむ
ことができます。

車座になっての国政報告会 地元の各地区で開催

■車座で意見交換

私は有権者の皆さま
に、選挙の間はどうし
ても一方通行になって
しまいがちですが、選
挙が終われば、車座に
なつてご意見を頂戴し
たい、とお約束してま
いりました。

その言葉の通りに、
この半年は、通常国会
における審議の間を
縫いながら、地元の各
地で報告会を開催し、
貴重なご意見をいた
だきました。

この半年は、通常国会
における審議の間を
縫いながら、地元の各
地で報告会を開催し、
貴重なご意見をいた
だきました。

■勇壮ながんがら祭り
一六四四年・正保元
年に興った池田のがん
がら火祭りでも、昨年
から建石町の皆さんの
お仲間に加えていた
きました。山に登って
大文字に薪をくべ、火
の粉をかぶりながら、
その醍醐味を堪能す
るのです。

その他多くの地域・
地区のお祭りや盆踊り
大会にご招待いただ
いており、心から感謝
を申し上げます。

初めての国政報告会
は、三月一日、茨木市
の福祉文化会館で開
催
雨の中でしたが、多
くの方がご参加くだ
さいました。

初めは、膝詰のミニ
集会をきめ細かく積
重ね、後援会組織の
拡大に努めてまいり
ます。

都構想と大阪の再生 国政から全力でバックアップ

■都構想の実現へ

七月三十日に開催
された参院選後の大阪
維新の会・全体会議
では、橋下徹代表・大
阪市長や松井一郎幹
事長・大

四月十九日には箕
面のグリーンホール
で、北大阪急行の延
伸や社会保障改革
について、貴重な
ご意見を頂戴し
ました。

豊能町でも、六月
九日に開催し、街
づくりの課題につ
いて活発な討議を
いただきました。



今後は、膝詰のミニ
集会をきめ細かく積
重ね、後援会組織の
拡大に努めてまいり
ます。

阪府知事と当面の
活動方針について確
認し合いました。

日本維新の会は地
域の国政から生ま
れた唯一の国政政
党であり、その

の原点を堅持しつ
つも、政界再編を積
極的にリードし、
経済の成長と真の
地方分権を支える
政治勢力を結集し
てまいります。

■地元体制を拡充

永田町での議員活
動には今後も全力
で取り組み、経済
再生に力を尽くし
て参りますが、今
秋の堺市長選挙か
ら再来年の統一地
方選挙までは大阪
が主戦場、地元体
制の拡充を図つて
まいります。

具体的には、茨木
事務所を移転し、
本部長兼東部事務
所とする一方、池
田・箕面・豊能か
らなる豊能地区に
も西部事務所を新
設し、専任の秘書
を配置する準備を
進めています。



読者の皆さまにお
かかれましては、引
き続きの指導ご鞭
撻の程宜しくお願
い申し上げます。

あだち やすし

- <所属委員会>
- ・厚生労働委員会
- ・震災復興特別委員会
- ・原子力特別委員会(理事)

昭和40年10月14日生まれ。
茨木市立中津小、東中、府立茨木高校、京都大院卒。
経済産業省大臣官房参事官を経て、昨年12月の衆院選で初当選。
茨木高校水球部から国体・インターハイに出場。京大水泳部主将。

